

## 被災したビニールハウスの復旧サポート



2016年9月2日

農作業の人手が足りず、農業ボランティアを求める声が高まる中、ビニールハウスの片付けをお手伝いしています。阿蘇市ではいちごのハウス栽培が盛んで、本来であれば「いちご狩り」を楽しむ観光客の姿が多く見られたといいます。

地震により、いちごを植えている”ベンチ”が倒れてしまい、ライフラインが寸断されている間にいちごは枯れてしまいました。私たちは残ったいちごの苗から、新しい苗を育てて新しいベンチに定植し、事業が再開できるようにサポートさせていただいています。

「自分のところは被害が少ないから…」と他の農園の片付けの手伝いに行かれていた農家さん。5棟のビニールハウスからは、収穫を待つはずだった無数のイチゴの苗が、無残な姿に…。胸が痛みます。

現在、ビニールハウスにどんどん新しいベンチが建ち、今後はベンチにシートを張って、約50tほどの土を入れていく作業になります。最初、倒れたベンチを出す作業から始まり泥を出し、解体や苗付けを手伝い、とずっとお手伝いさせていただきましたが、一つの節目がつかえました！

お手伝いさせていただいた農家さんは、震災後、遅れ遅れになる農作業を、おひとりで懸命にがんばって立派に実らせていらっしゃるのですが、タイミングを逃せない収穫の手が足りず、ボランティアでお手伝いさせていただいたことを、信じられないことのように心から感謝されていました。

